

公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団
2026 年派遣留学奨学生募集について
(埼玉大学から海外協定校への派遣留学予定者対象)

2025 年 12 月 5 日 申請締切、提出書類を変更しました。

本奨学金への申請希望者は、本募集要項をよく理解の上、留学・国際交流課へ必要書類を提出すること。

【注意】 2026 年度海外協定校への派遣留学（1 次募集）への申請者が対象です。学内選考結果の通知前でも申請は可能ですが、学内選考で不合格となった場合、また留学先大学が東南アジア以外の協定校に内定した場合、奨学金への応募は取消の扱いとなります。

I. 応募資格

東南アジア諸国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、東ティモール）及び南西アジア諸国（インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ）18 カ国へ留学を希望する日本国籍を有する学生で、以下の条件を満たす者

- ① 国際理解と親善に関心を持っていること
- ② 他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（貸与奨学金、学費免除は応募可。）
※下記参照
- ③ 学内の特別プログラム等で、使途自由な金銭を受給していないこと ※下記参照
- ④ 奨学生として採用された後、異文化交流を目的とする佐藤陽国際奨学財団の交流会に必ず出席すること
- ⑤ 留学修了後に開催される「留学報告会」に必ず出席し、留学の成果を報告すること
- ⑥ 埼玉大学に在籍する学生であって、派遣先協定校での留学期間（履修期間）が 6 ヶ月以上かつ 2 セメスター以上であること
- ⑦ 2026 年 9 月末までに留学を開始すること
- ⑧ 埼玉大学における直近までの GPA が 3.25（4.00 満点）以上であること
(GPA の算出方法は 4 ページをご覧ください。)
- ⑨ 留学先での勉学・研究に支障のない語学力を有すること
- ⑩ 留学先国で就業又は居住している親がいないこと
- ⑪ 留学中は財団の許可を得ることなく日本に帰国しないこと
- ⑫ 帰国後、SATOM として財団の交流活動やネットワーク構築等に積極的に協力できること
(SATOM とは佐藤陽国際奨学財団の卒業生の総称です。)

※ 応募時に奨学金や学内の特別プログラムで金銭等を受給している場合であっても、本奨学金支給開始時に、受給が終了している場合は応募できます。

II. 奨学金

月額： 100,000 円（ただし、シンガポールに留学する場合は月額 180,000 円）
一ヶ月に満たない月の奨学金は 10 日単位割りの計算とする

III. 支援金

渡航費等：250,000 円（往復航空券、空港施設使用料等）

交換留学一時金：150,000 円（予防接種費用等）

保険料（海外安全危機管理サービス費含む）：150,000 円を限度とする実費

※日本出発時に支払った額のみ支給

IV. 支給期間・支給方法

1. 奨学金の支給対象期間

財団が認めた留学期間とし、留学先に入国した日から支給を開始し、留学先を出国した日に支給を停止する。ただし、留学期間を超えて留学先に滞在した場合は、留学期間終了日をもって支給を停止します。

2. 支給方法

2ヶ月毎、2ヶ月分を本人名義の日本国内金融機関口座に日本円で振込

V. 募集人員

10名程度

VI. 書類締切

~~2025年12月15日（月）12:00~~ **2025年12月17日（水）12:00** ※締切厳守

VII. 提出物

下記書類の原本を留学・国際交流課の窓口（全学講義棟1号館 1階 学生センター）に提出すること。

① 申請書（2枚） ※別紙① 自筆

* 1ページ目「HOME(在籍)大学」の「GPA」は4ページの計算式で算出してください。

* 1ページ目「HOME(在籍)大学」の「算出使用5段階評価パターン」「留学担当部署」は空欄のまま提出してください。

② 指導教員推薦書（巻封） ※別紙②

* 教員から巻封にて受け取り、開封せずに留学・国際交流課に提出してください。

* 教員から受け取ることが困難な場合は、教員から直接、留学・国際交流課に原本またはデータで提出いただいても構いません。（データの場合は、スキャンしたものをメールで送付）

③ エッセイ（1枚） ※別紙③ 自筆

④ 留学計画書 ※別紙④ 自筆

⑤ 経費計画書 ※別紙⑤ 自筆

⑥ 研究計画書（2026年4月時に大学院在籍学生のみ提出）A4サイズ1枚、ワープロ可

⑦ 在籍証明書

⑧ 学業成績証明書

（学部生は、高校の成績から直近まで。大学院生は、学部から直近までの学業成績証明書）

⑨ 留学スケジュール（履修の開始及び終了予定時期、帰国時の埼玉大学の学年及び卒業予定時期等）A4サイズ1枚、ワープロ可

⑩ アカデミックカレンダー

⑪ **誓約書（学内様式）（2025.12.5追加）**

VIII. 選考及び結果発表

書面選考及び面接選考

- ・書面選考の結果は、2026年2月中旬までに留学・国際交流課から通知します。
- ・面接選考は2026年2月21日（土）又は22日（日）に東京にて実施予定です。
- ・面接選考での自己PRは英語で行います。
- ・面接選考の結果は、2026年3月中旬までに留学・国際交流課から通知します。
- ・合格した学生は、東京でおこなわれる「認証式：2026年4月18日（土）」に必ず出席してください（交通費支給）。疫病や自然災害等で認証式が開催できない場合など、変更することがあります。

IX. 留意事項

1. 佐藤陽国際奨学財団の選考に合格した学生は「応諾書」を提出することにより財団の奨学生として正式に採用されます。「応諾書」提出後に、他の奨学金を受けること等を理由に**財団の奨学生を辞退することは認められません。** **※提出物①誓約書（学内様式）を提出していただきます。**
2. 派遣留学奨学生が以下のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがあります。
(「奨学生規則」を佐藤陽国際奨学財団のHP (<http://www.sisf.or.jp>) で事前に確認してください)
① 留学期間中に無断で帰国した場合
② 交流会を無断で欠席した場合
③ 「生活報告書」その他提出物を期限内に提出しなかった場合
④ 指導教員から修学または研究の継続が不適当とされた場合
⑤ 学業成績が不良の場合
⑥ 休学・転学の場合
⑦ 法律や社会秩序に反する行為を行った場合
⑧ 財団の名誉を傷つける行為をした場合
⑨ 留学中の出国日数（45日間）を超えた場合
⑩ 対象国以外に出国した場合
3. 派遣留学する場合は、留学前に留学先国の言語を学んでください。
4. 合格時点で派遣先大学の承認を得られていない場合は仮合格として、その後、承認を得られなかつた場合には合格を取り消します。
5. 「留学先大学の入学許可書（写し）」を入手次第、留学・国際交流課に提出してください。
6. 「自筆」と指示のある申請書は、必ず応募者本人が記入してください。

＜問い合わせ先＞

埼玉大学 留学・国際交流課
全学講義棟1号館 1階 学生センター
窓口受付時間：平日 8:45～16:45
Email: outbound@gr.saitama-u.ac.jp
Tel: 048-858-9061

《選考用 GPA の算出方法》

- 1) 応募者が学部学生の場合は、在籍課程の直近までの学業成績を、以下の〈換算表〉を使い、「選考用評価ポイント」に換算してください。
- 2) 成績の段階評価がなされていない「認定」等の科目や、卒業に必要な単位には算入されない科目（教職科目や自由科目など）は計算（分母および分子）から除外してください。
- 3) 下記〈選考用 GPA 計算式〉により選考用 GPA 値を算出してください（小数点第 3 位を四捨五入）。
- 4) 必ず自分で成績表を確認しながら、G4~G0 の各単位数を数え、上記 1)~3) の方法により選考用 GPA を算出してください（大学の GPA とは数値が一致しないことがあります）。選考用 GPA の算出において誤りがあった場合は、「書類不備」の扱いとなりますので慎重に計算してください。
- 5) 修士課程、博士課程在籍の応募者は学部卒業時の成績を用いて上記 1)~3) の方法により算出してください。

〈換算表〉

選考用評価ポイント	G4	G3	G2	G1	G0
埼玉大学の成績	S	A、A+	B、B+	C、C+	D、F

〈選考用 GPA 計算式〉

$$((「G4 の単位数」 \times 4 + 「G3 の単位数」 \times 3 + 「G2 の単位数」 \times 2 + 「G1 の単位数」 \times 1 + 「G0 の単位数」 \times 0) / (「G4 の単位数」 + 「G3 の単位数」 + 「G2 の単位数」 + 「G1 の単位数」 + 「G0 の単位数」))$$

$$((「G4 の単位数」 + 「G3 の単位数」 + 「G2 の単位数」 + 「G1 の単位数」 + 「G0 の単位数」) / (「G4 の単位数」 + 「G3 の単位数」 + 「G2 の単位数」 + 「G1 の単位数」 + 「G0 の単位数」))$$